

安全な国産グリーン社会

コラム SDGS Safety Domestic Green Society

第11回

グリーン、グリーンナー、グリーンネスト

遅れを取り戻すには、グリーンニング!

一般社団法人 光楓座 代表理事 佐藤建吉

グリーン社会!

時代は、グリーン社会。しかし、日本はその流れに遅れている。それは、日本の世間事情によるものかもしれない。「世間」という言葉は日本に特有な意識である。世間を超えた意識が「社会」で、それは「個人」という言葉があつてのことである。「社会」は、明治に入り西周がSocietyの日本語として訳した。「個人」という言葉も西周がIndividualを訳したもので、その概念は日本には無かつたので「社会」を訳したのち7年後であつたという。個人の存在、その意識を活かした社会こそが民主主義をつくるのであるが、デモクラシーも日本にはなお根付いていない。結果、グリーン社会の定着も遅い。

が迫られている。個人や国民の多くは、その意識を持つが、国や官僚、そして政治が鎖国状態を強いている。前回のコラムでは、大学発進のグリーン社会を、学長が主導している千葉商科大学の例を示した。今回はその補遺版として、国民も国も、一体として進める機会をつくりたい。その合言葉には英語で習った、比較級・最上級そして動名詞を掲げたい。表題のグリーン、グリーン、グリーンネスト、そしてグリーンングである。

グリーンのもつイメージ

まずグリーンの意味を深めたい。グリーン/緑の補色はレッド/赤である。グリーン社会とは言うが、レッド社会とは聞かれない。赤は燃え盛る炎の色であり、情熱や熱情を意味する。決して悪い意味ではない。日丸も赤であり、三色旗にも赤を用いている国も少なくない。それでも、レッド社会とは言えない。波

長によって分離できる。エネルギーも同様である。エネルギーは「仕事をする能力」というのが原意であり、多くの種類がある。自然エネルギーと言われるものを取り上げれば、水力・太陽光・太陽熱・風力・バイオマス・地熱・地熱のほかに潮力や波力などがある。エネルギーには、これ以外に化学、電気、磁気、電、厚力など、たくさん種類がある。これらのエネルギーから用途に合わせて取り出し使い分け、仕事をさせる。光の場合と同じように、「用途」というプリズムによる、ある個別のエネルギーを取り出して利用される。しかし、エネルギーを取り出すことは出来ても、その過程でほかのエネルギーが必要であったり、得られたエネルギーの保存に別のエネルギー

が必要であったり、さらに輸送のためにまたエネルギーが必要であったりする。またあるエネルギーでは人体に危険であったりする。したがって、ほかの商品と同じくエネルギーにもコストに差があり取捨選択される。これは、個人や国民の暮らしと直結する。エネルギーは仕事をやる能力であり、また光と同じく、直接つかむことが出来ない。またその利用にはやっかいな課題を伴ったりする。それは、商品であり、価格や流通そして上流と下流(川上や川下)という現場の差や流通の過程において差が生まれる。しかし、人間が楽や利便さを求めて便利なエネルギーの開発を進めて来た。徒歩から馬車に、そして自動車に。石炭から石油の資源を利用した。化石燃料の枯渇や地球の温暖化の回避のために、自然エネルギーには再び着目された。エネルギー密度の高さに惹かれて原子力を推進したりした。それには、思わぬ落とし穴があつた。そうして、賢明な個人や企業は、グリーン社会にその解決策として希望を見出している。

グリーンエネルギー社会

したがって、「グリーンエネルギー社会」がその目標として掲げている。「グリーン」という目標は、緑色をしているわけではないが、前述のグリーンのイメージである。日本人としては、「もつたいない」ことをしな

ある。これは、非化石燃料以外のエネルギーという訳でもない。具体的に、地球温暖化の原因とされている温室効果ガスだけでなく、大気汚染の原因でもある硫酸酸化物といった物質の排出量の少ないエネルギーを、グリーンエネルギーと呼んでいる。

グリーンング

いまの時代に、グリーンエネルギーやクリーンエネルギーの利用が求められるのは、二酸化炭素の排出量がない(フーリー)なエネルギー利用を目標とするからである。上の表には、慣用のエネルギーでの二酸化炭素排出量を示す。化石燃料は非グリーンであることが明解である。

グリーン&クリーン

資源エネルギー庁の「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度」では、グリーンエネルギーとして、次のように定義されている。

資源エネルギー庁の「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度」では、グリーンエネルギーとして、次のように定義されている。

色による抽象的連想
赤-興奮、歓喜、緊張、活動
橙-健康、元気、活発、喜び
黄-明朗、陽気、元気、楽しい
緑-新鮮、平安、平静、若々しい
青-深遠、忠実、理想、落ち着き
紫-高貴、神秘、心配、疾病
白-清潔、純粋、公正、無邪気
灰-憂鬱、不安、落ち着き、哀れ
黒-厳正、不安、陰鬱、死滅

グリーンとエネルギー
グリーンは緑色であり、可視光線の中の色である。可視光線はプリズムを通して七色の虹のよう波長あるいは屈折に

発電法 二酸化炭素排出量(kWh当たり)
建設・燃料採掘時 燃料燃焼時
石炭火力 79 864
石油火力 43 695
LNG火力 123 476
LNGコンバインド 98 376
太陽光 38 -
風力 25 -
原子力 20 -
地熱 13 -
水力 11 -

「有効エネルギー」|| 「全エネルギー」|| 「無駄エネルギー」
「有効エネルギー」|| 「全エネルギー」|| 「無駄エネルギー」
「有効エネルギー」|| 「全エネルギー」|| 「無駄エネルギー」

連載

「グリーン」と「エネルギー」
「グリーン」と「エネルギー」
「グリーン」と「エネルギー」